

いそん



QRコードを
チェック

伊江村議会事務局



令和8年度 P14~15 新年度注目予算

今月の
表紙紹介
P18

- 村政の **ココ** を問う.....P2~7
- 広報コンクール **3連覇!** & 自治功労者表彰...P16

新年度スタート!
議員改選を迎える
今年は目が離せないっ
チュン!



伊江島イメージキャラクター
タッチゅん

高齢者福祉のサービス向上を目指して

村長 見守り機器の設置を新年度実施する

問 本村の高齢化率は年々高まり、令和2年の国勢調査時点の34.6%から令和8年1月末には39.6%まで上昇した。村の人口減少率と並行し、今後、高齢者の一人暮らしや夫婦世帯が増加していくことは必至である。

そこで、長年村の振興発展に寄与いただいた高齢者の皆様に敬意の念と感謝の意味を込め、誰一人取り残すことなく「住み慣れた島で健康で明るく長生きできる」ことをサポートする各種高齢者福祉サービスを強化させるべきだと考えている。

そこで、次の点について村長の考えを伺う。

① 高齢者世帯の安否確認の現状と強化策について。

② 配食サービスの今後の取組について。

③ 各区で実施されているミニデイへの参加者が年々減っている現状を打開する対策はないか。

答 村長

① 毎年2回、各区長、保健師、社会福祉協議会、役場のメンバーにより各区内の高齢者世帯、独

居世帯の状況等の情報交換を実施し、各種サービスの必要性確認や、身上相談等を行っている。

強化策については、見守り機器導入費用の一部を助成し、離れた場所で開催する親族等が安心して見守るための助成事業を新年度予算に計上している。

② 1月末現在で、延べ88人で、合計7,459食の利用がある。高齢化率の進行に伴い利用者も増加すると想定し、個別の家庭環境や健康状態等を調査し適切に実施したいと考えている。

③ 受託事業者である社会福祉協議会と村でプログラムや運営について協議しているが、増加に結びついていないのが現状である。防災無線で呼びかけ、様々なアイデアを持ち寄り、継続的に検討していきたいと考えている。

問 ①見守り機器については一部助成では金銭的な面で導入できない方も出てくるので高齢者の単身や夫婦のみの世帯にはすべて導入してほしい。

② 配食サービスは例えば8歳なのか85歳なのかは検討し、その

年齢になって希望すれば全世帯で受けられるよう要綱を改正してほしい。

③ミニデイへの参加者が少しでも多くなるようにしてほしい。特に男性の参加を考えてほしい。

答 村長

①見守り機器の導入については、希望されるすべての家庭に設置できるようにしたい。見守り機器の毎月の使用料は200円



西崎区のミニデイの様子

300円を考慮しており、その分を各家庭で負担してほしい。

②配食サービスでは一定年齢に達した方全員にということはない。配食業者の手が回らないということもある。

③ミニデイへの参加については男性も女性も人数を増やすような起爆剤になるようなプログラムを今後検討していきたい。

①見守り機器の設置は経済的な理由で設置できない人が出ないよう全額助成にしてほしい。

②配食サービスで「配食業者の手が回らない」との答弁があったが、配食を断れる理由にはならない。今後、高齢者は増えるのだから別の業者を探すことも行政の大きい仕事だと思ふ。

最後に高齢化が進むにつれ介護ヘルパーが少なくと伺っている。ヘルパーのみならず、ケアマネージャーの育成も継続してほしい。

高齢者が村内で、安心して健康で長生きできるように、各種高齢者福祉サービスの向上を希望する。



しまぶくろよしのり
島袋義範 議員





一般質問の詳細については
ホームページの第2回
定例会をご覧ください

村政の

フラワーアイランドとしての取り組みを

村長

「タ日とロマンのフラワーアイランド」をキャッチフレーズに自然や文化をはじめ、テッポウユリやハイビスカスなどの花々を島の魅力として観光振興を推進している



しまぶくろつとむ
島袋 勉 議員

問

「フラワーアイランド」としての取り組みを「伊江村のキャッチフレーズに「タ日とロマンのフラワーアイランド」とある。さらなる観光客の来島を望むには、フラワーアイランドとしてのイメージアップは重要な施策だと思慮する。そこで3点について伺う。

①年間を通じた草花や花木の植え付け計画はあるか。

②伊江村の玄関口である伊江港ターミナル周辺と城山中腹の草花や花木を増やすことはできないか。

③村道沿いのプランターを増設できないか。

答
村長

本村は「タ日とロマンのフラワーアイランド」をキャッチフレーズに自然や文化をはじめ、



伊江港ターミナル周辺

テッポウユリやハイビスカスなどの花々を島の魅力として観光振興を推進している。

①村内2か所の福祉作業所に委託して、県道沿いやミースイ公園前のプランターの植栽・管理を行っておりますが、年度初めに村と福祉作業所での間の植付け計画を立て、季節に応じた花々の植栽を行っているところである。

②伊江港ターミナルは島の玄関口であり、観光客の第一印象を左右する重要なエリアであると認識しております。現在、伊江島はにくすにホール前の道路沿いに、プランターを集約して設置しているが、ターミナル南側の海に面する場所においては、塩害の影響があるため、プランターなどを増やせない状況にある。また、城山中腹においては草花や花木が少ない状況にあるため、売店前や登山口周辺にプランターの設置を検討したいと思う。

③村道沿いの景観向上は、観光振興のみならず住民の生活環境の向上にも資するものと考えている。一方で、プランターの増設には、福祉作業所だけでは負担が大きく、維持管理や水やりなどの課題もある。最近で

は、伊江島一周マラソン大会に向けて、役場の共済会や伊江中の卒業生及び村の女性会が植栽作業を実施し、協力をいただいているところである。引き続き、村内の各団体や事業所さらには各御家庭などと連携しながら、協働による花いっぱい運動を推進して観光資源の充実を図っていく。



城山中腹の売店

優良繁殖雌牛導入について

村長 改良基盤の充実強化、減少する飼養頭数の維持増頭を図るためにも、優良繁殖雌牛導入に対する支援に取り組んでいく

問 近年飼料の高騰や肥料やラップ等の生産資材、燃料代も高止まりが続いており、畜産農家の経営を逼迫している。優良繁殖雌牛預託増頭支援事業が令和5年度から令和7年度まで実施されているが、次の点について伺う。

- ① 令和5年度・令和6年度・令和7年度見込みの優良繁殖雌牛導入実績は
- ② 令和2年から令和7年度までの畜産農家の母牛頭数は
- ③ 今後の優良繁殖雌牛導入について

答 村長

① 令和5年度が7頭、令和6年度が72頭の実績となっており、令和7年度は41頭の実績見込みとなっている。

② 令和2年度2,630頭、令和3年度2,377頭、令和4年度2,355頭、令和5年度2,286頭、令和6年度2,186頭、令和7年度については2,006頭となっており、令和2年度と比較して624頭の減少となっている。

③ 一括交付金を活用し、令和5年度から令和7年度までの3年を事業

期間として実施している。令和8年度以降についても、新たな3年計画を継続すべく県との調整を行っており、繁殖経営が中心となる本村において改良基盤の充実強化、減少する飼養頭数の維持増頭を図るためにも、優良繁殖雌牛導入に対する支援に取り組んでいく。

問 自家保留中に対する支援は出来ないか伺う。

答 農林水産課長 浦崎 悟

自家保留した場合に、保留した牛に対する補助ではなくて預託料に対する8割支援ということで、新年度予算にも計上している。4月1日交付決定に向け、県と調整を行っている。



優良繁殖雌牛導入事業

LINE公式アカウントについて

村長 令和8年度の早いうちに幾つかの機器の関係、リスクマネジメント、整理をして、意に沿うようなLINE公式アカウントをしっかりと適用できるようにしていきたい。

問 令和7年3月定例会にて、LINE公式アカウントについて一般質問を行った。日常生活で必要な情報や急な天候の変化で定期便欠航など様々な情報が防災無線で放送されている。大事な情報を聞き逃したり、知らなかったなど、日常において支障が出ていると思われる。進捗状況について伺う。

- ① LINE公式アカウント導入の進捗状況について
- ② LINE公式アカウント導入の今後の取り組みについて

答 企画課長 新保 礼人

① 令和7年10月に公式LINEアカウントは取得申込を行っている。

答 副村長

② 公式LINEアカウントは、公共団体において、チェックが厳しい。規制があり、その審査の中で1団体、1公共団体、1つしか使えないため、審査が通らない状況である。令和8年度で行うことにもなっておりますが、設備、システムのな部分もハードルがあり、進んでいない現状である。個人情報であったりプライバシーであったり、公共団体においては扱っているもので、情報公開、情報の報道、新しいシステムに関してはリスクマネジメント、リスクを回避していかなければならないという部分もあり、慎重に行っているところである。

答 村長

令和8年度の早いうちに幾つかの機器の関係、リスクマネジメント、整理をしてできるだけ早く、それらの課題をしっかりと解決をし、意に沿うようなLINE公式アカウントをしっかりと適用できるようにしていきたいと思う。



ちねんくにお
知念 邦夫 議員

一般質問（宮城 弘和）

離島高校生修学支援事業の拡充と居住形態による負担格差の解消について

教育長 しっかりと分析をしながら効果の高い、実効性のある支援事業に取り組んでいきたいと考えている。

問 本村においては、高校進学に際して住み慣れた島を離れ、本島等での二重生活を余儀なくされている。保護者にとつて、生活拠点が二分されることによる経済的負担は極めて重く、家計を圧迫している現状がある。

特に、民間アパートを選択せざるを得ない生徒の保護者の負担は大きくなっている。そこで、次の3点について伺う。

①寮費及び、食費を除いた居住費を伺う。

②民間アパートへ入居している生徒数とその家賃及び1か月当たりの生活費の平均額を伺う。

③現行の月額2万円の支援に加え、物価高騰対策としての臨時的な上乘せ支援や、特に負担の重いアパート居住者に特化した住居費加算など、村独自の追加支援策を講じる考えはないか伺う。

答 教育長 比嘉 悟

①公立高校の寮費平均額は約3万5,000円で居住費は約1万1,000円となります。

②現在49人で平均月額約6万500円、1か月当たりの生活費の平均額は、約11万円となっている。

③新年度より企業版ふるさと納税を活用し、一律月額5,000円の追

加補助する措置として、当初予算に計上している。

問 令和4年度以降の寮の居住費は横ばいで推移しているのに対し、アパート家賃は4年度から、約2割強上昇している。寮生活と比較して、物価高騰による多額の居住費、生活費を要するアパート居住者の実態に即した支援が必要であり、村独自の就学支援費拡充、支援策を進めるべきと考え、見解を伺う。

答 村長

しっかりと分析をしながら効果の高い、実効性のある支援事業に取り組んでいきたいと考えている。

問 離島高校生修学支援事業については、開始から10年以上が経過している。物価や賃料が高騰する中で、国・県の補助単価は依然として据え置きになっている。他市町村と足並みを揃えて、制度の抜本的な見直し、補助単価の大幅な引き上げを国、県に対し、強力に要請していただきたい。

答 村長

今後も強力に要請をしていけるように努力したいと思っている。

ネーミングライツ導入による財源確保と施設運営の活性化について

村長 しっかりとトップセールスをしていきながら、様々な企業と話し合いをしながら努力を続けていきたいと思っている。

問 本村における体育施設をはじめとする公共施設の維持管理コストは、年々増大している。限られた財政状況の中で、行政サービスを維持・向上させるためには、新たな自主財源の確保が急務である。

その有効な手段の一つが、ネーミングライツ（施設命名権）である。企業にとつては、施設に名称を冠することで、宣伝効果やイメージ向上が期待されるほか、地域貢献を通じた社会的信用の獲得という大きなメリットがある。一方、村にとつては、得られた対価を施設の維持管理費や補修費に充当することで、住民負担を抑制しつつ、質の高い施設環境を次世代へ引き継ぐことが可能となる。村が実施したパートナー企業の募集では、応募ゼロという厳しい結果に終わった。



みやぎ ひろかず
宮城 弘和 議員

ネーミングライツの導入の成功には、スポーツを通じて発信力の活用とトップセールスが極めて重要な鍵を握ると言われている。村にゆかりのある企業や施設に関心を持つ可能性の高い企業に対して、村長自らが直接的なトップセールスや個別交渉に乗り出すべきと考えるが、見解を伺う。

答 村長

しっかりとトップセールスをして、様々な企業と話し合いをしながら努力を続けていきたいと思っている。



伊江村野球場

伊江村の図書館建設の考えを伺う

教育長

新庁舎建設後の事業として想定しており、村民やPTAをはじめとする各種団体の御意見を伺いながら取り組んでいく。

問

図書館は単なる本を読む・貸す場所だけではなく、地域のコミュニティ形成の拠点でもあり、人を育てる場所でもあると考える。豊かな自然環境の中で、生涯にわたり学び続けられる村。その象徴的な基盤施設が図書館ではないか。そこで、新たな図書館建設や既存の施設を活用するなど、総合的な観点を踏まえた図書館建設の考えを伺う。

答 教育長 比嘉悟

図書施設を含む（仮称）文化センターの整備は、新庁舎建設後の事業として想定しており、その在り方については、財源の確保や将来的な維持管理費の負担などを十分に踏まえ、持続可能な施設整備となるよう、村民やPTAをはじめとする各種団体の御意見を伺いながら取り組んでいく。



読谷村立図書館

県営かんがい排水事業の進捗状況を伺う

村長

県営かんがい排水事業の早期事業完了、そして各地区における1日も早い「水あり農業」の開始を目指し、県との連携を深め事業推進に努めていく。

問

現在進められている県営かんがい排水事業は、単なるインフラ整備ではなく、将来の担い手確保や若者定着に直結する事業であると考えます。この事業は沖縄県が事業主体であることは承知しているが、農家から1日も早く散水が利用できるよう意見があります。つきましては、同事業の進捗状況を伺う。

① 現在整備中の地区は何地区で、その進捗状況は。

② 農業用水を散布する給水栓ボックスが設置されるが、ボックス内の自動散水未設置の地区がある。散水ボックス設置後自動弁の設置はいつ頃になるか。

③ 事業主体は沖縄県だが、給水栓ボックスの設置計画について、村と協議されているのか。

答 村長

① 本村で、現在整備中の県営かんがい排水事業は、「伊江東部地区」「ミースイ・唐小堀地区」「真謝・真西地区」「伊江西部地区」の4地区である。進捗状況については、「伊江東部地区」が約97%、「ミースイ・唐小堀地区」が約37%、「真謝・真西地区」が46%、「伊江西部地区」が約43%となっている。

② 県営かんがい排水事業4地区のうち、「伊江東部地区」については給水栓ボックスのみが設置され、自動弁が未設置の箇所はない。その他3地区については、令和7年度より給水栓ボックス内へ順次に自動弁の設置が進められている。

③ 令和6年度からの新たな取組として、県北部農林水産振興センターが主催し、村と伊江土地改良区の3者による、月1回程度の事業定例会を開催している。今後とも、県営かんがい排水事業の早期事業完了、そして各地区における1日も早い「水あり農業」の開始を目指し、県との連携を深め事業推進に努めていく。



なみざと はるお 並里 晴男 議員

今回、一般質問で取り上げたのは、伊江村議会の村民との意見交換会の中で、地元としては、できるだけ集中して早くこの地区は終わらせて供用開始したほうが良いという意見があり質問した。ぜひ農家からの意見、要望があった場合、しっかりと取り組み沖縄県に要請していただきたい。



県営かんがい排水事業



伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業について

村長

①「自然に配慮した説明板の設置を望む」との意見を踏まえ、整備を進めている。
②令和8年度へ繰越し、整備を進めていく。



うちま ひろき
内間 広樹 議員

問 「伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業」は、「沖繩戦の縮図と呼ばれる伊江村には先の大戦の戦禍を物語る戦跡や記念碑が数多く存在している。中略、戦旗75年が経過し記憶を伝える戦跡の重要性は一層高まりをみせ、将来どう伝えるか、喫緊の課題となっている。本業務は、戦争の記憶を伝える場所や物、起きた出来事を的確に把握し、保存方法や活用方法など、未来への方向性を示すため基本計画を策定することを目的に、令和3年度に事業計画が策定された。令和4年度より順次整備が進められているが、次の2点について伺う。

- ① アシヤギヌメーヌガマの整備の進捗状況は。
- ② 旧米軍滑走路に緑十字機飛来の説明板を追加整備できないか。



令和7年度に「伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業」で整備した説明板

答 村長

村においては、令和2年度に基本計画、令和3年度に実施設計業務及び戦跡VRコンテンツ制作業務を経て、令和4年度から順次整備を進め、今年度完了事業と合わせ計4か所に説明板の設置とアハシヤガマ南側駐車場の整備を行った。説明板には、QRコードを付し、スマートフォンをかざすと、音声による説明や当時の写真、映像が視聴できる仕組みとなっている。

① 一括交付金事業を活用し、令和8年度事業で整備をした。今定例会に予算計上している。整備については、令和7年2月に伊江村戦跡等周辺整備検討委員会を開催し、委員と現場確認を行い「自然に配慮した説明板の設置を望む」との意見を踏まえ、整備を進めている。
② 戦後80年事業として、令和7年度に予算計上したが、設置箇所などの調整に時間を要したため、令和8年度へ繰越し、

整備を進めていく。また、説明板については、緑十字機が離着陸をした滑走路付近に設置をしたいと考え、伊江島緑十字機を語る会と連携・調整を図り整備を進めていく。

問 当初アシヤギヌメーヌガマの整備事業と、答弁にある案内板の設置という乖離、それはいつそうなったのか伺う。

答 福祉課長 島袋 裕次
当初の計画では説明板の設置、駐車場、階段の整備、アシヤギヌメーヌガマの正面部分の舗装、植栽の計画となっており、ある程度大規模な事業規模であった。その委員会を開催し、現場を確認した際に、自然に配慮してほしいということがあり、樹木の伐採、除草をしまして自然を残した状況で整備をしていただきたという意見があった。

※1 乖離
そむき離れること。結びつきがはなれること。

QUESTION

一般質問 (内間 広樹)



議決の結果

令和8年 第2回定例会

会期：令和8年3月9日（月）～19日（木）

議案番号	件名	議決月日	議決結果
報告第1号	令和8年度 沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	3月10日	原案報告
報告第2号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について	//	//
報告第3号	村道川平集落道14号道路整備工事（R7）の専決処分の報告について	//	//
報告第4号	伊江村青少年旅行村改修整備工事の専決処分の報告について	//	//
議案第6号	令和8年度伊江村一般会計予算	3月19日	原案可決
議案第7号	令和8年度伊江村診療所特別会計予算	//	//
議案第8号	令和8年度伊江村国民健康保険特別会計予算	//	//
議案第9号	令和8年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算	//	//
議案第10号	令和8年度伊江村水道事業会計予算	//	//
議案第11号	令和8年度伊江村船舶運航事業会計予算	//	//
議案第12号	令和7年度伊江村一般会計補正予算（第8号）	3月11日	//
議案第13号	令和7年度伊江村診療所特別会計補正予算（第4号）	//	//
議案第14号	令和7年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	//	//
議案第15号	令和7年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	//	//
議案第16号	伊江村過疎地域持続的発展計画の策定について	3月10日	//
議案第17号	村営クビリ原地区土地改良事業（区画整理）の施行について	//	//
議案第18号	村営クビリ原地区土地改良事業（農業用排水施設）の施行について	//	//
議案第19号	村道川平農道線道路整備工事（R7）の請負契約の変更について	//	//
議案第20号	伊江村コミュニティ施設の指定管理者の指定について	//	//
議案第21号	伊江村製氷施設の指定管理者の指定について	//	//
議案第22号	伊江村家畜市場の指定管理者の指定について	//	//
議案第23号	伊江村黒糖工場の指定管理者の指定について	//	//
議案第24号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	//	//
議案第25号	伊江村犯罪被害者等支援条例の制定について	//	//
議案第26号	伊江村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	//	//
議案第27号	伊江村陸上養殖場施設運営基金条例の制定について	//	//
議案第28号	伊江村課設置条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第29号	伊江村行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第30号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第31号	伊江村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第32号	伊江村水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第33号	伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	//	//

令和8年 第3回臨時会

会期：令和8年3月27日（金）

議案番号	件名	議決月日	議決結果
報告第5号	伊江I期地区農業集落排水管路布設工事(R6-2)の専決処分の報告について	3月27日	原案報告
議案第34号	伊江村特定専門職定住促進住宅新築工事(建築・周辺整備)の請負契約の変更について	//	原案可決
議案第35号	令和7年度伊江村一般会計補正予算(第9号)	//	//
議案第36号	令和7年度伊江村診療所特別会計補正予算(第5号)	//	//
議案第37号	令和7年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	//	//
議案第38号	令和7年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)	//	//
議案第39号	令和7年度伊江村水道事業会計補正予算(第2号)	//	//
議案第40号	農業集落排水処理施設整備工事(R7電気設備)の請負契約について	//	//
議案第41号	伊江I期地区農業集落排水管路布設工事(R7-4)の請負契約について	//	//
議案第42号	伊江I期地区農業集落排水管路布設工事(R7-6)の請負契約について	//	//

3月定例会 傍聴者の声

村老人クラブ・区長会・
その他一般傍聴者(10人)

感想やご意見
ありがとうございました



Q1 「議会広報 いえそん」をご覧
になったことはありますか。

いつも見ている(10人)

Q2 もし、あなたが議員ならどのよう
な質問をしますか。

- 女性議員がいない現状への疑問。
- 机上ではなく、現場へ出向いてほしい。
- 経済発展、子育て・高齢者支援
- 社協との災害ボランティアセンター設置
に向けた協議や締結の取組状況について
- 役場の今後、実施するDX推進について

Q3 議会傍聴の感想をご自由に記入
ください。

- いい学びになりました。
- 議会を自宅や職場でも傍聴できるよう
にして欲しいです。村(行政)の取組
を知ることができて良かったです。身
寄りのない高齢者の死後事務手続き
や家屋片付等が年々増加しているの
で、体制作りを整えて頂きたいです。
- 以前に比べて、多種多様な事業のメ
ニューが制度化され、それを積極的に
活用されていると感じました。

議員・議会・委員会 の役割は？



伊江村を豊かな住みよい村にするために、
住民から選挙で選ばれた「議員」は地域の声に耳を傾け、
その声を行政に届ける**役割**があります。



議会と村長



「議会」は村政を進める上での意思の決定と村政が適正に行われているかを審査する機関で「議決機関」といいます。また、「村長」は村議会の決定により村政を進めることから「執行機関」といいます。村議会と村長は、お互いに対等の立場で村政について議論しながら住民福祉の向上に全力で努めています。

議会構成



会議の種類



本会議

議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）定期的に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。いずれも村長が招集していますが、臨時会は議員の請求により招集する場合もあります。

定例会や臨時会において議員定数の半数以上の議員が議場に出席して開かれる会議を「本会議」といいます。

この会議で議会の最終的な意思が決定されます。

委員会

議会は限られた期間の中で、議案や請願、陳情などを審議するためには本会議だけでは十分ではありません。そのため、専門的かつ詳細に審議する委員会が設けられています。

委員会には総務常任委員会、経済・公営企業常任委員会、議会運営委員会、議会広報調査特別委員会、特別委員会があります。





常任委員会

総務常任委員会	5人	総務課、住民課、医療保健課、企画課、教育委員会、監査委員会、選挙管理委員会、他の常任委員会に属さない事務
経済・公営企業常任委員会	5人	農林水産課、建設課、商工観光課、公営企業課、農業委員会に関する事務

常時設置されている委員会で、それぞれの所管に属する事項を審査します。

議会の運営に関する事項などを協議するために設置されています。

議会広報調査特別委員会

議会広報紙「いえそん」の編集・発行及び議会広報に関する委員会。



特別委員会

必要に応じて、特定の事件を審議するため本会議の議決により、臨時に設置される委員会です。審議が終了すれば委員会は消滅します。

※議員定数調査特別委員会が令和3年6月定例会で設置され、令和4年3月定例会で審議が終了。

全員協議会

全議員で構成する会議で、議案等の審議・審査は行わず村長が提案した議案等についての説明や聴取などを行います。



議員報酬・手当等

	報酬月額
議長	263,250円
副議長	218,400円
委員長	210,600円
議員	202,800円
	期末手当
6月	報酬月額×1.10×1.525
12月	報酬月額×1.10×1.675
◎給料は報酬、期末手当あわせて308万円!?	
	費用弁償
議会などに出席すると1日あたり、2,000円が支給される。	



議員の給料は？

定数・任期

条例定数	現員数	任期
10人	9人	令和4年9月28日～令和8年9月27日



Q 真謝区・西崎区住環境負担軽減事業について、令和7年度から取り組まれて、令和7年度までの実績として、真謝区が59件、西崎区が165件、事業の完

ここが聞きたい!!

予算審査特別委員会 質疑

了率が、真謝区が67%、西崎区が31.5%となっている。令和8年度予算では真謝区が5件、西崎区が10件予定をされている。令和8年度、何月頃に実施される予定か伺う。

A 4、5月で、令和8年度分の事業を発注予定である。

Q 村長の施政方針に、「DX推進班を設置する」ということが盛り込まれているが、このDX推進班とはどういう班か伺う。

A しっかりとIT化と個人情報も保護しながら、効率化を図る、今必要な分野のトランスフォーメーションの事業で、現状では企画課が電子あるいはIT化、そういったシステムの部門を所管している、その課の中で班を設け、窓口となって取り組んでいきたいと施政方針で申し上げたものである。

Q 現在、民生委員の数、また不足している区について伺う。

A 伊江村では、民生委員11人、主任児童委員2人、計

13人定員予定となっている。現在、民生委員11人に対して西江上区、西江前区、西崎区の3区で欠員があり、今全体で10人となっている。

Q セグロウリミバエの不妊虫を放虫しているが、現段階で伊江村はどうなっているか。また、植えてはいけない作物の制限もまだあるか。

A 沖縄県全体では、毎月100頭から200頭前後、沖縄県全域では発見されているが、伊江村は5頭から20頭ぐらいの範囲で、波があつて10何頭捕獲するときもあるし、5頭捕獲されるときもあるという状況である。植付けの自粛については、農業として、生業としていない一般の家庭菜園の方々に対して、県内全域で発生要因が、防除を十分に行っていない家庭菜園からの発見がほとんどという状況も踏まえ、一般家庭の方には「禁止」という表現はできないので「自粛していただきたい」というお願いをしているところである。

Q 農産物冷蔵保管施設導入事業について、議会報告会の中で、完成後の指定管理の選定

で、生産組合をつくり、指定管理を受ければ安くできるのではと意見があつたが。

A J Aと指定管理について協議を進めているところである。公の施設になるため、公平に島らつきようを預かれるよう、団体が指定管理者になれるよう、しっかりと協議をしていきたいと考えている。

Q おきなわ農林水産物県外出荷促進事業、この内容は。

A 当該事業は北部の市町村及び離島市町村が定める農作物に対する村外に対する補助金、村外出荷に対する補助金となっており、伊江村から沖縄本島内に輸送する場合は1キロ当たり、最大8円、伊江村から県外に輸送する場合は、船舶を利用する場合は1キロ当たり12円、県外へ輸送する場合は航空機を使う場合、飛行機を使う場合には1キロ当たり107円の輸送補助となつている。なおこの事業については、個人の農家は対象にならず、生産者3人以上の出荷団体が組織されていること。もしくは漁協のような組織、農業生産法人のような組織が補助の対象になるという事業である。



一般会計予算討論

賛成討論 知念 邦夫 議員

令和8年度 伊江村一般会計予算案に、賛成の立場から討論を行います。

一般会計予算は、歳入歳出それぞれ75億1,700万円が計上されており、対前年度比4億1,300万円の増額で、歳出に対する不足額については、地方債及び基金繰入金を充当した計上となっています。

歳入においては、国・県から交付される依存財源が約8割、自主財源率が約2割となっており、依然として厳しい財政状況と言わざるを得ません。

国際情勢の不安定化や円安、物価高騰状況の落ち着く先が見通せない状況を鑑みると、大幅な改善は難しいと思料致しますが、第5次行政改革大綱に基づく各施設の使用料等の見直しや、ちゅら島応援寄付金並びに企業版ふるさと納税の取組など、自主財源確保への意欲が年々高まっております。引続き、持続的な自主財源の確保を図り、質の高い行政サービスの提供をしていただきたいと思います。

歳出においての主な事業で、2款総務費では、いよいよスタートする「庁舎等複合施設建設事業」をはじめ、「移住定住施策」、3款民生費においては、「読書環境構築支援事業」をはじめ、高齢者及び障がい者への生活支援など、老人福祉、障がい福祉、児童福祉に対する助成金事業が計上されています。4款衛生費では、「妊産婦や特定の疾患の患者への支援」や「予防接種助成の拡充」、「聖苑施設機能強化整備事業」、6款農林水産事業費では、「農産物冷蔵保管施設導入事業」や「農業基盤整備促進事業」など、新規及び継続した事業をはじめ、各要請に対する幅広い支援が計上されています。7款商工費にて、新規の「世界のゆり花壇整備工事」、「旅行村コインロッカー整備事業」8款土木費では、「本部港立体駐車場増設整備事業」、10款教育費にて、「伊江中グラウンド整備工事」等のハード面や「離島高校生修学支援事業」等のソフト面の支援拡充で保護者の負担軽減が図られることになりました。

これまで、村民から要請された村政各般にわたる事項に対応された予算計上は高く評価するものであります。

厳しい財政状況の中、新たな事業や既存の事業の継続による福祉の向上、産業振興、衛生環境整備、移住定住促進、観光振興、教育振興など、住みよい豊かで魅力に満ちた村づくりに向けた均衡ある予算編成がなされていると認めます。

執行にあたっては村長を筆頭に職員一丸となって取り組んでいただくよう切望し、令和8年度一般会計予算に対する賛成討論とします。

賛成
討論



4千円 (6会計) を可決

(単位:千円)

会計名	令和8年度予算額	令和7年度予算額	前年度比増減額
一般会計	7,517,000	7,104,000	413,000
診療所特別会計	386,000	396,000	▲ 10,000
国民健康保険特別会計	973,100	996,700	▲ 23,600
後期高齢者医療特別会計	84,700	79,000	5,700
船舶運航事業会計	939,570	902,876	36,694
水道事業会計	213,214	210,136	3,078
合計	10,113,584	9,688,712	424,872



令和8年第2回定例会（3月）を3月9日から19日までの11日間の会期で行いました。本定例会では、令和8年度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、令和7年度補正予算など32件の議案を審議し、すべて原案の通り可決しました。

審議結果の概要はP8をご覧ください。

暮らし

渡久地 政雄 議員

新庁舎等複合施設整備事業
(庁舎検討委員会報酬等)
47万4千円



現在の役場庁舎



いよいよ伊江村役場新庁舎の建設に向けた大きな一歩を踏み出し、予定地も決まり、現在は基本計画の策定を進めているが、この新庁舎を単なる拠点としてだけでなく、災害時には村民の生命を守る「防災の要」として、また平常時には誰もが気軽に立ち寄り、交流を深めることができる空間を目指し、次世代へ誇れる村の象徴（シンボル）となるよう期待する。

私は
ココ
に注目!?

村の予算



暮らし

島袋 義範 議員

真謝区・西崎区
住環境負担軽減
事業 8,000万円



真謝区・西崎区住環境負担軽減事業

本事業は基地に隣接する真謝区、西崎区の騒音を少しでも緩和することを目的に令和元年度から開始され令和7年度未だに工事は真謝区では59世帯中40世帯、西崎区で165世帯中52世帯で、全体でも未だ41.1%の進捗である。まだまだ西区の多くの方が騒音に悩まされている状況にある。現在の物価高騰のスピードから考えれば早めの完了を希望したい。そのことは村の財源の節減に繋がると考える。



教育

内間 広樹 議員

R8 伊江村立伊江中学校
校運動場改修改修工事
1億5,000万円



伊江中学校グラウンド

来年、伊江中創立80年の節目にグラウンド整備が計画され、周年事業にも取り組むのか注目していきたい。



令和8年度
予算総額

101億1,358万



一般会計予算額75億1,700万円
対前年比4億1,300万円の増額っちゃん



生活

島袋 勉 議員

農産物冷蔵保管
施設導入事業
2億9,800万円



島らっきょうの種や花卉を保存するJA冷蔵庫

農産物の効率的な出荷調整、鮮度・品質を確保し、年間を通じた安定的な供給体制の整備を図り、持続的な農業の発展に期待する。



漁業

亀里 敏郎 議員

具志漁港冷蔵施設更新事業
2,250万円



具志漁港冷蔵庫

施設の老朽化で使用できなくなって、本施設の更新事業は漁業者にとって、漁獲物の鮮度保持や出荷調整等に最重要施設であることから早期の完工に期待している。



農業

知念 邦夫 議員

優良繁殖雌牛預託増額
支援事業 2,400万円



優良繁殖雌牛預託増額支援事業



繁殖雌牛飼養羊頭数の増頭を図る目的に、優良繁殖素牛の導入により子牛の品質の向上、セリ価格の上昇が見込まれる。また、本村畜産総合施設へ預託を行い、増頭に取り組む農家に自家保留に対しても預託料の一部を補助する。

観光

宮城 弘和 議員

本部港立体駐車場
増設整備事業
7億6,985万円



本部港立体駐車場

慢性的な駐車場不足の解消とスムーズな出庫環境を整備することは、利用者の利便性を高め、本村の観光振興に大きく寄与するものと期待する。



観光

虻江 修 議員

青少年旅行村機能
拡充事業 570万円



青少年旅行村拡充事業

青少年旅行村のリニューアル工事が完成。歩車道の区別が明確になり安全が確保された。キャンプ等での利用者は年々増加している。施設利用者の視点になった施設整備を行うことで利用者の増加に期待したい。



教育

並里 晴男 議員

R8 伊江村立伊江中
学校運動場改修工事
1億5,000万円



伊江中学校グラウンド

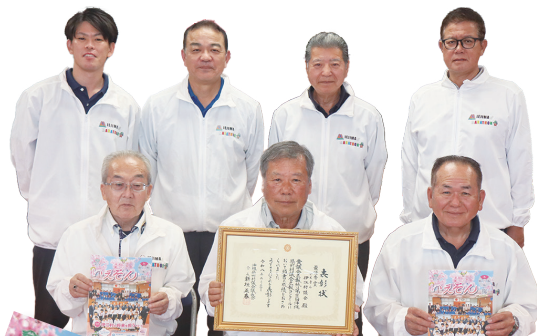
野球のバックネットやランニング用の周辺のゴムチップの老朽化が進んでいることから、各施設の改修を行い、生徒の学習環境の改善が図られるため。



1/24 第21回沖縄県町村議会広報コンクール 議会広報 いえそん 最優秀賞 3連覇!!

編集方針や企画性を高く評価

広報コンクールにおいて、第19（令和3年度）、20回（令和5年度）に続き3回目の最優秀賞に輝いた。審査委員からは、「議会の広報誌であるが、村内の多くの子どもたちが登場するほか、女性会や高齢者なども出しながら、議会活動を広く伝えようという意図が伝わる。」と評価された。並里晴男広報委員長は、「村民の皆様にはいかに分かりやすく伝えるかを委員と協議しながら作成しており、評価されて良かった。編集業務を委託している『(株)ちとせ印刷』、主に題字揮毫に協力していただいている、『老人ホームいえしま』、『ふさと苑』、『昴』の皆様をはじめ、ご協力いただきました皆様に感謝いたします。」とコメントしました。



広報委員と事務局職員



1/24 全国・沖縄県町村議会議長会より 4名の議員が自治功労賞を受賞!!

令和8年2月24日に開催された沖縄県町村議長会定期総会にて、全国町村議会議長会より、「町村議会議長として7年以上在職」の渡久地政雄議長、「町村議会議員として27年以上在職」の亀里敏郎議員、「町村議会議員として15年以上在職」の内間広樹副議長が、沖縄県町村議長会より、「町村議会議員として11年以上在職」の島袋勉議員が自治功労者として表彰されました。



左から内間広樹 副議長、亀里敏郎 議員、
渡久地政雄 議長、島袋勉 議員



一連携企画 第8弾一

広報誌を読もう



Q. 伊江港と本部港を運航している2隻のフェリー、「いえしま」、「ぐすく」がありますが、乗船定員はどちらが多いでしょうか？

A. 伊江島広報「イーハッチャー」6月号に掲載！



議会の活動

3月 March

- 3日：議会運営委員会、全員協議会（全議員）
- 4日：JAおきなわ指定管理説明会
（経済・公営企業常任委員長）
- 6日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 7日：伊江中学校卒業式（全議員）
- 9～19日：第2回伊江村議会定例会（全議員）
- 13日：両小学校卒業式（全議員）
- 24日：社会福祉協議会理事会
社会福祉協議会評議員会（議長、虻江議員）
- 25日：議会広報プロポーザル（議長、広報委員）
- 27日：第3回伊江村議会臨時会（全議員）
- 31日：退職者辞令交付式（議長）

4月 April

- 1日：役場職員人事異動辞令交付式（議長）
- 7日：例月出納検査（虻江監査委員）
伊江村青年会総会（議長）
- 8日：伊江中学校入学式（全議員）
- 9日：両小学校入学式（全議員）
- 11日：第33回伊江島一周マラソン大会（全議員）
- 14日：伊江村老人クラブ連合会総会（全議員）
- 16日：北部地域の道路網及び離島架橋の早期実現
決起大会（全議員/名護市）
- 17日：沖縄県消防指令センター落成式
（議長/うるま市）
伊江村女性会定期総会（副議長）
- 18日：アーニーパイル慰霊祭（副議長）
- 21日：芳魂之塔平和祈願祭（全議員）
- 25日：第29回伊江島ゆり祭り（議員）
- 27日：町村議長会理事会（議長/那覇）
- 28日：沖縄県振興拡大大会議（議長/那覇）

5月 May

- 1日：伊江村陸上養殖場視察（全議員）
令和8年度新任教職員歓迎会（議員）
- 8日：第1回北部議長会理事会・総会（議長/名護市）
- 13日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 18日：広報委員会（広報委員）
- 21日：人材育成会理事会・総会（全議員）
伊江村商工会総会（議長）
- 22日：東京都豊島区表敬（議長/東京都）
- 24日：関東伊江島城会第30回定期総会（議長/東京都）
イーヅマ郷友会定例総会・高校新入生歓迎会（副議長/名護市）
- 26日：全国町村議会議長・副議長研修会（正副議長/東京都）



北部地域の道路網及び離島架橋の
早期実現決起大会



第29回伊江島ゆり祭り

わたし

私がいねそんを

題字(揮毫)記入者

か
書きました!



名前 **喜屋武カメ子**
 生年月日 昭和16年10月9日生 84歳
 行政区・屋号 阿良区

【老人ホームふさと苑】 職員からみたカメ子さん

在宅からデイサービスを利用されています。民謡が大好きでレパートリーが広く、BGMで民謡が流れると必ず口ずさんでいます。カチャーシーも大好き！他の方とゆんたくしながら豆の皮むきやタオルたたみなど、手際よく作業されています。

ダウンチュイムニ 独り言

令和8年度村の予算は、6会計で総額101億円超の大型予算となり物価高騰に対する支援策を始め産業振興、医療福祉の充実、教育文化振興等、様々な事業の予算が計上されました。議会としてもその執行体制を常に監視し村の発展と村民福祉の向上に努めて参ります。

又今年も、選挙年と言われ、村でも6月に村長選挙、9月には議会議員選挙が予定されています。

村民一人ひとりが政治に関わる重要な選挙であり、多くの村民が投票に参加されることをお願いして**ダウンチュイムニ(独り言)**します。

伊江村議会議員 並里 晴男



今月の表紙は、第29回伊江島ゆり祭りで、5月4日に打ち上げられた花火の様子です。

▶ 6月定例会予定 **6月10日(水) 午前10時～**

議会傍聴を希望される方は、議会事務局 (☎49-2924) へお問合せ下さい。
発熱や風邪、倦怠感のある方はご遠慮いただく場合がございますのでご理解ください。

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局



印刷インキに植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。



読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

